

TOTO

2ハンドル湯水混合栓

TBC20型・TBF20型・TBG20型
TBH20型・TBJ20型・TBR20型
TBW20型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

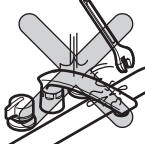
取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

 注 意		
 禁止	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	強い力や衝撃を与えない 故障や水漏れの原因になります。	

 注 意		
 分解禁止	この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 故障や水漏れの原因になります。	
 必ず実行	凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く また、寒冷地の場合は「9 寒冷地での水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に行う 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

2

仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度	85℃以下	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)	
用 途	一般住宅浴室用	

3

取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の水圧をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります、商品には問題ありません。

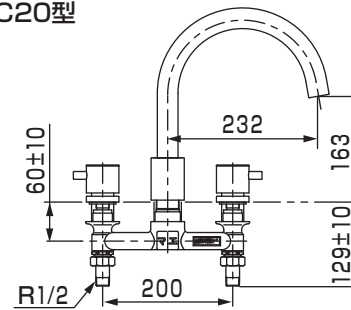
4

完成図

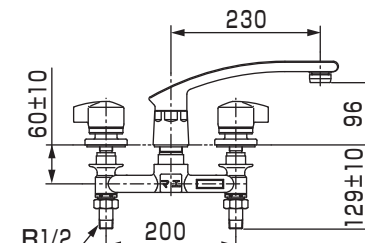
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

ストレート吐水タイプ

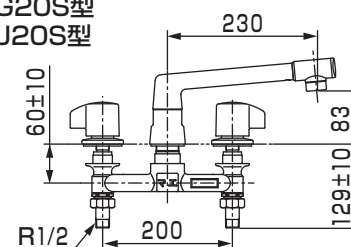
TBC20型



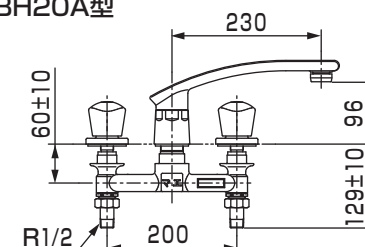
TBF20SA型
TBF20SGA型



TBG20S型
TBJ20S型

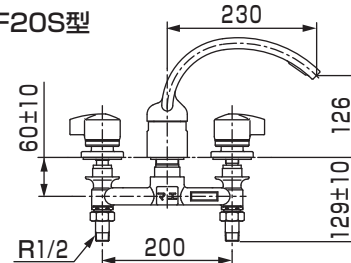


TBH20A型

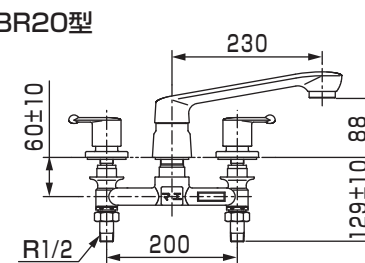


滝状吐水タイプ

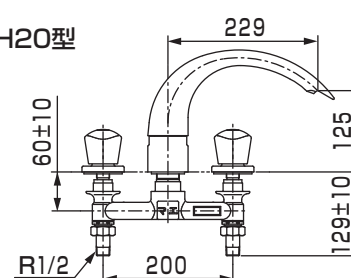
TBF20S型



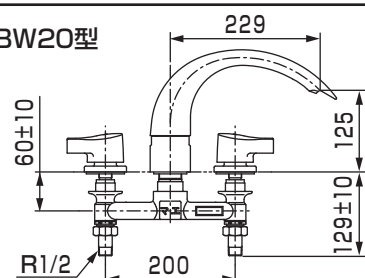
TBR20型



TBH20型



TBW20型

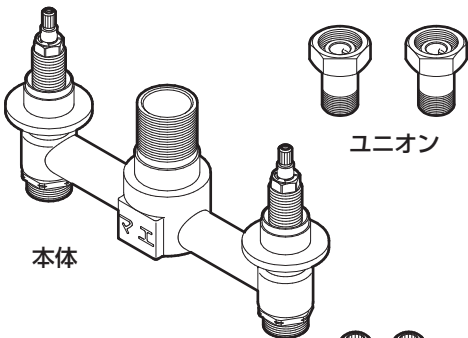
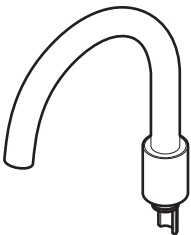
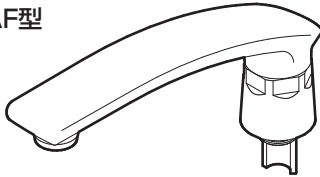
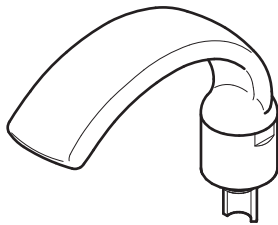
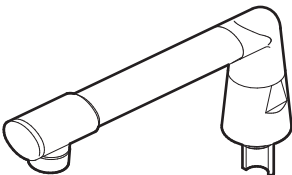
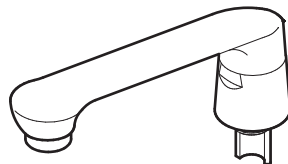
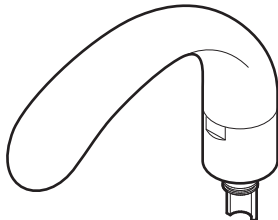
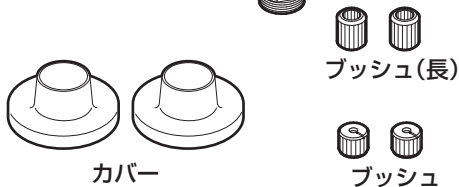
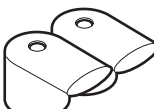
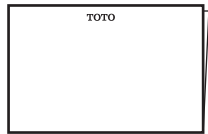


※TBH20型・TBH20A型にはハンドル違いのEタイプ・Fタイプがあります。

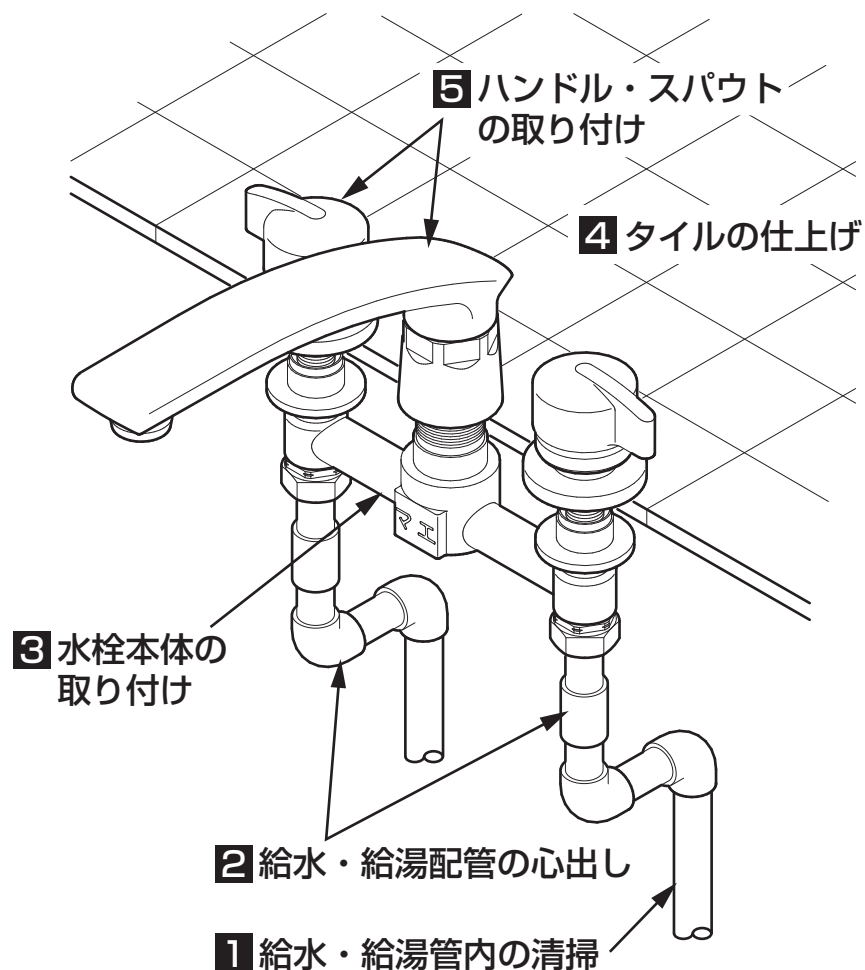
5

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	 本体 ユニオン	ス パ ウ ト 部							
	ストレート吐水タイプ				滝状吐水タイプ				
	TBC20型 		TBF20SA型TBF20SGA型 TBH20A型TBH20AE型 TBH20AF型 		TBF20S型 				
	TBG20S型 TBJ20S型 		TBR20型 		TBH20型 TBH20E型 TBH20F型 TBW20型 				
その他	 カバー ブッシュ(長) ブッシュ	ハ ン ド ル 部							
	ハンドル取付用ブッシュ付き				インデックス付き				
	TBF20S型 TBF20SA型 TBF20SGA型  青 水側レバーハンドル  赤 湯側レバーハンドル  ブッシュ(2個)  小ねじ(2個)	TBW20型  青 水側レバーハンドル  赤 湯側レバーハンドル  ブッシュ(2個)  小ねじ(2個)	TBC20型  レバーハンドル (2個)  インデックス(C)  インデックス(H)  小ねじ(2個)	TBG20S型 TBJ20S型  レバーハンドル (2個)  インデックス(青)  インデックス(赤)  小ねじ(2個)	TBH20型 TBH20A型  ハンドル (2個)  インデックス(C)  インデックス(H)  小ねじ(2個)	TBH20AE型 TBH20E型  ハンドル (2個)  インデックス(C)  インデックス(H)  小ねじ(2個)	TBH20AF型 TBH20F型  ハンドル (2個)  インデックス(C)  インデックス(H)  小ねじ(2個)	TBR20型  レバーハンドル (2個)  インデックス(青)  インデックス(赤)  小ねじ(2個)	
	 施工説明書		 取扱説明書						

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

2 給水・給湯配管の心出し

注意

心出しが不十分だと水栓の取り付けや浴槽内への水出しができませんので、下図の寸法を厳守し、施工してください。

単位：mm

浴槽リム幅	A 寸法
70	50～130
100	50(70)～100
55	50(70)～145

() はTBW20・TBR20の場合

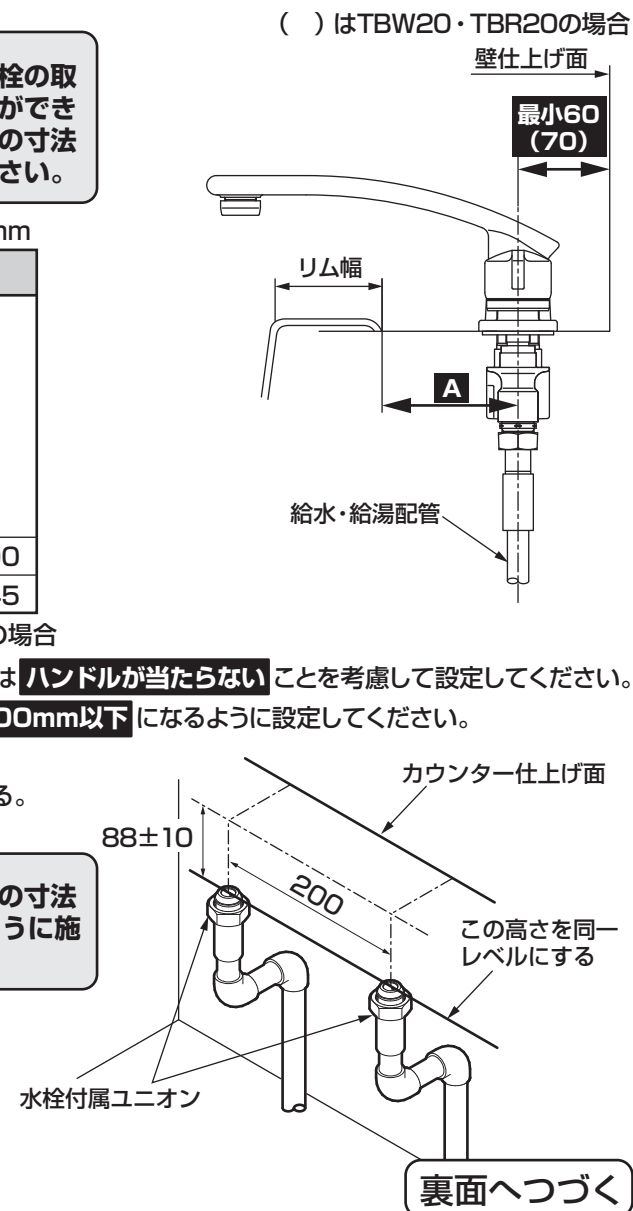
※他の浴槽の場合、**A 寸法はハンドルが当たらない**ことを考慮して設定してください。

また、**リム幅+A寸法が200mm以下**になるように設定してください。

水栓付属ユニオンを接続する。

注意

カウンター仕上げ面までの寸法が 88 ± 10 mmになるように施工してください。



3 水栓本体の取付け

①水栓本体を取り付ける。

注意

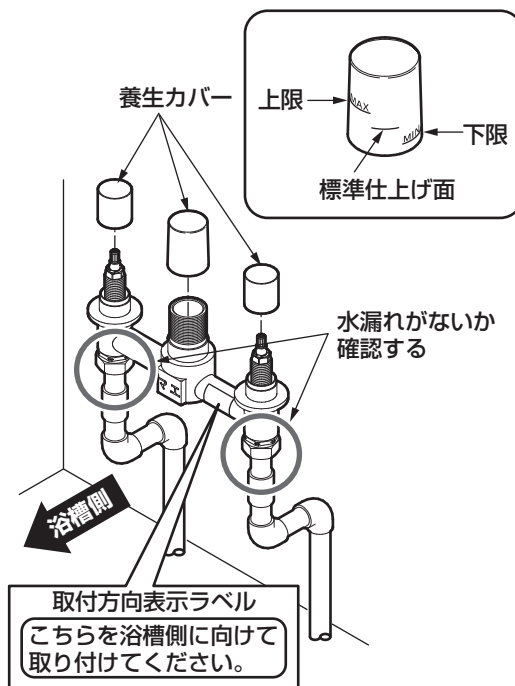
取付方向表示ラベルの面が浴槽側に向くように取り付けてください。逆に取り付けるとスパウトの取り付けができなくなります。

②養生カバーをかぶせる。

注意

養生カバーはタイル仕上げが終わるまでかぶせたままにしておいてください。また養生カバーにはカウンター仕上げ面の範囲を表示してありますので、この範囲内に仕上げ面がくるか確認してください。

③埋込配管部に通水して、水栓接続部分の水漏れの有無を確認する。

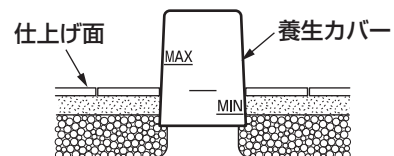


4 タイルの仕上げ

養生カバーに表示してある仕上げ範囲内に納まるようにタイルの仕上げをする。

注意

養生カバーの内側にモルタルなどが入り込まないように注意してください。



5 ハンドル・スパウトの取り付け

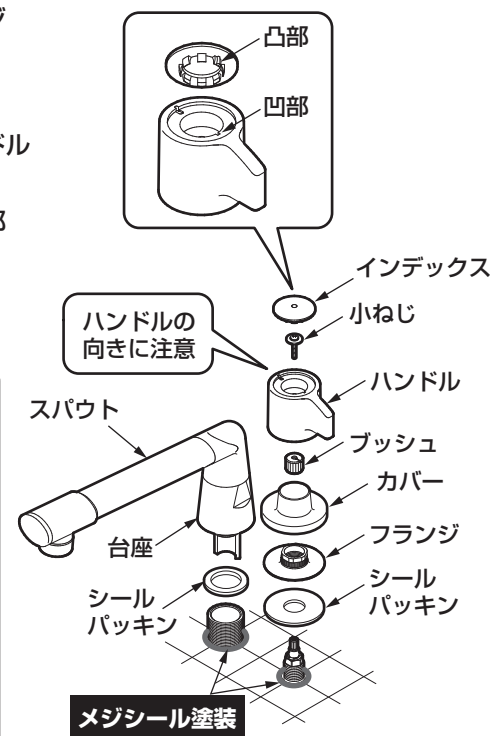
①養生カバーを外し、タイル目地のくぼみから水が入り込まないようにメジシールを塗布する。はみ出したメジシールはよくふき取る。

注意

ハンドルのタイプに注意して、そのタイプに応じた要領で取り付けてください。

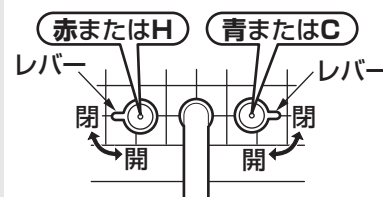
インデックス付きの場合

- ②シールパッキンとスパウトを取り付ける。
- ③スピンドルにシールパッキンとフランジを固定する。
- ④フランジにカバーを固定する。
- ⑤ブッシュとハンドルを小ねじでスピンドルに固定する。
- ⑥インデックス爪の凸部とハンドルの凹部を合わせてはめ込む。



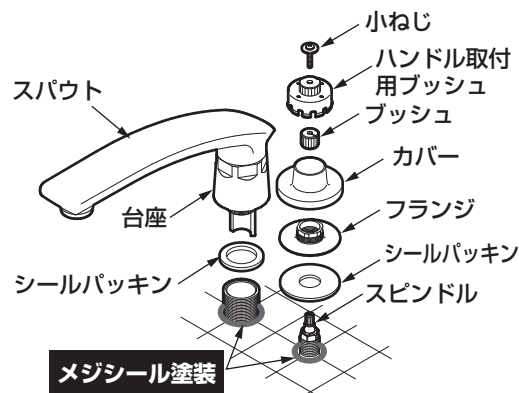
注意

- レバーハンドルの場合、閉止時にレバーが下図の位置になるように、取り付けてください。
- インデックスの赤色・青色（またはH・C）が下図になるように取り付けてください。



ハンドル取付用ブッシュ付きの場合

- ② シールパッキンとスパウトを取り付ける。
- ③ スピンドルにシールパッキンとフランジを固定する。
- ④ フランジにカバーを固定する。
- ⑤ ブッシュとハンドル取付用ブッシュを小ねじでスピンドルに固定する。



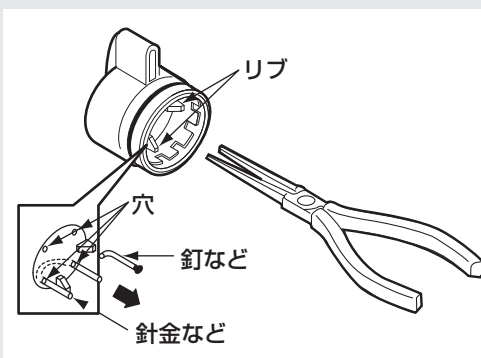
注意

ハンドルを取り付ける前に必ず、ハンドル取付用ブッシュを小ねじでスピンドルに固定してください。

小ねじで固定せずにハンドル取付用ブッシュをハンドルに取り付けると、ハンドルが確実に固定できません。

誤ってハンドル取付用ブッシュをハンドルに取り付けた場合

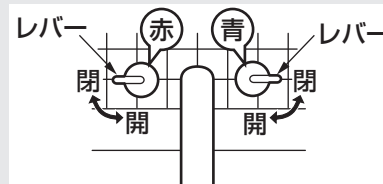
ハンドル取付用ブッシュ内側のリブ(4カ所)をプライヤーなどで引っ張るか、穴に針金などを通し、引っ張り外してください。



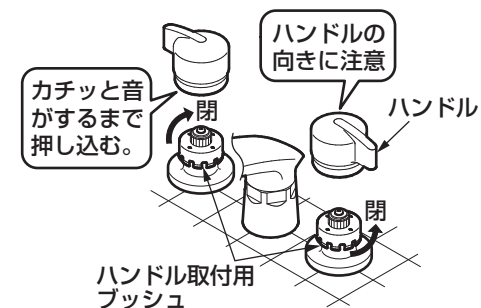
- ⑥ ハンドル取付用ブッシュを回し閉止状態にする。
- ⑦ ハンドルを“カチッ”と音がするまで押し込む。

注意

- ハンドルの向きは閉止時にレバーが下図の位置になるように、取り付けてください。
- インデックスの赤色・青色が下図になるように取り付けてください。

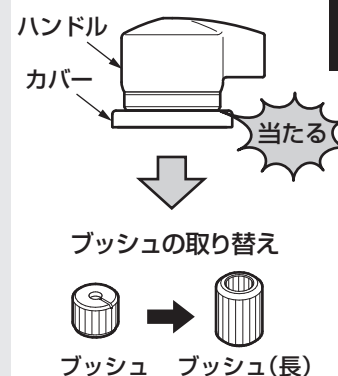


- ⑧ ハンドルが容易に抜けないことを確認する。



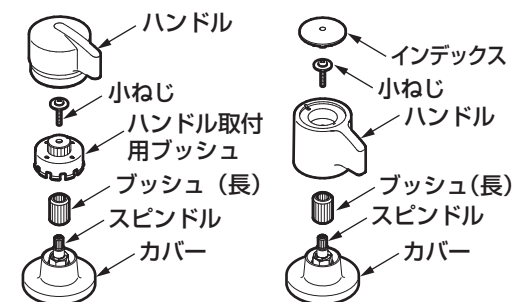
ハンドル取付時の注意

ハンドルがカバーに当たる場合は、ブッシュを付属のブッシュ(長い方)に取り替えてください。



ハンドル取付用ブッシュ付きの場合

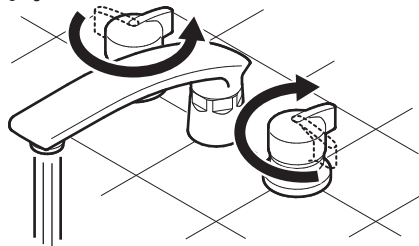
インデックス付きの場合



取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

水出し確認

配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。



流量の確認

流量が少ない場合は、次の項目を確認してください。

- ① 吐水口のごみ詰まりはないですか？

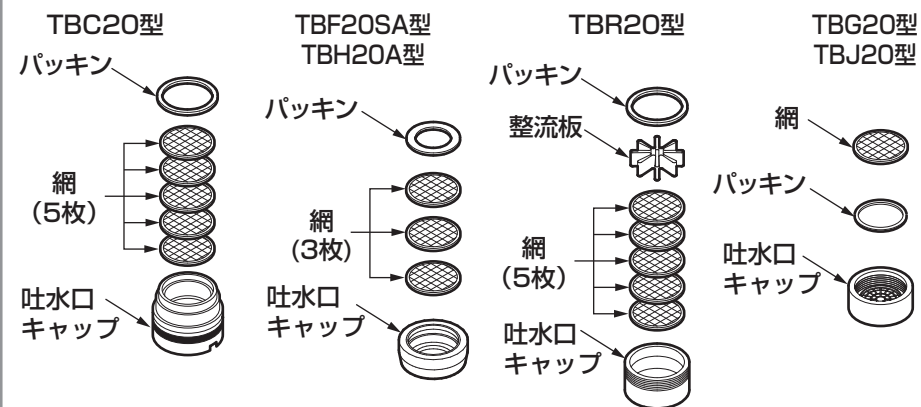
➡ 吐水口の掃除をする。



<滝状吐水タイプの場合>

➡ ⑧「吐水口の掃除」参照

<ストレート吐水タイプの場合>



② ④ ハンドル

⑤ 台座

ハンドルの確認

ハンドルの向きやインデックスの色が合っているか確認してください。

② ハンドルの向きは合っていますか？

③ インデックスの色は合っていますか？

➡ ⑥-2 ⑥-3 - ⑤「ハンドル・スパウトの取り付け」参照

③ インデックス



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

④ ハンドルはしっかり差し込まれていますか？

⑤ 台座のゆるみはないですか？

➡ ⑥-2 ⑥-3 - ⑤「ハンドル・スパウトの取り付け」参照

8

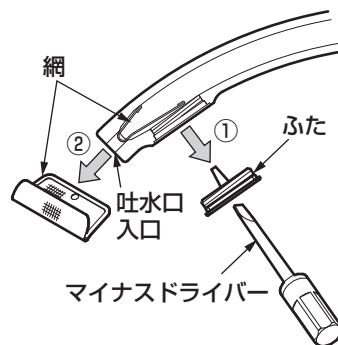
吐水口の掃除（滝状吐水タイプの場合）

1. ふたを外す。

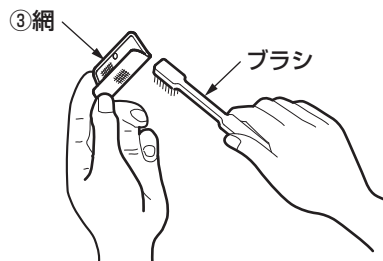
マイナスドライバーなどでふたを外してください。

2. 網を押し出す。

網をドライバーの先などで吐水口の方に押し出してください。



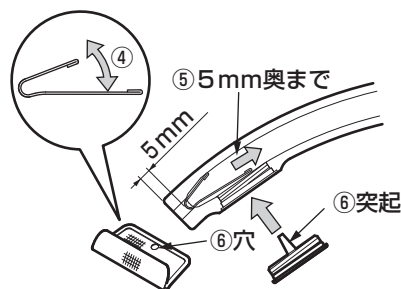
3. 網目に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く。



4. 網を組み込む前に、網の折曲げ部分を少し開いて張りを持たせる。

5. 網を押し込む。

吐水口の方から網を入れますが、入れる際は吐水口入口から5mmほど奥まで押し込んでください。



6. ふたをねじ込む。

ふたをねじ込む際は、網の飛出しを防ぐため網の穴にふたの突起を通してください。

9

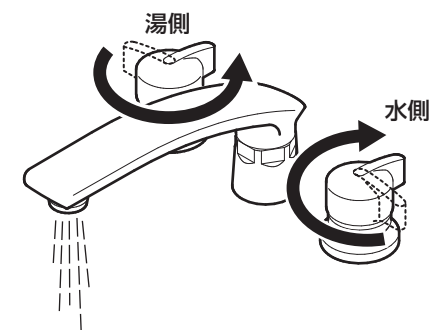
寒冷地での水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

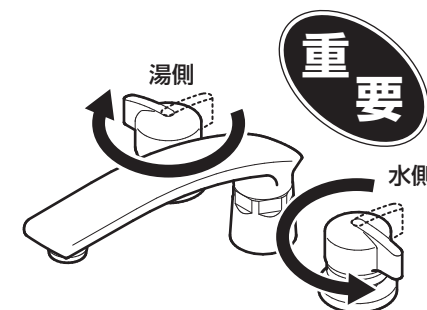
1. 配管部の元栓を閉め、水抜栓（配管部）を開ける。

※配管の元栓・水抜栓がわからない場合は、お求めの工事店にご相談ください。

2. 湯・水両方のハンドルを全開にして水栓内の水を抜く。



3. 水抜き完了後は、必ずハンドルを閉める。（水が出ない状態）



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。